

## 北海道立博物館協議会に係る諮問の進め方について

## ■ 諮問事項

「新たな時代に対応する北海道立総合博物館のあり方」について

## ■ 諮問内容

＜実施について＞

- 今回の意見聴取を含め令和 7 年 3 月まで 3 回を予定
- ただし、次回の協議会では中間報告及び第 3 期中期計画・目標の策定予定
- 幅広い意見聴取が前提となるが、時間的制約がある

＜聴取について＞

● 今後、博物館が進める（取り組む）べき方向性を 4 つに整理

1. 北海道博物館としての「基本的機能の充実」について
2. 北海道立総合博物館に「求められる役割」について
3. 北海道立総合博物館と「地域との信頼関係の構築」について
4. 北海道立総合博物館の「運営基盤強化」について

◎ 上記 4 つのポイントを中心に今後の協議会において、各委員より提言をいただき、答申内容とし、かつ、第 3 期中期計画・目標の基本軸に反映いただきたい。

## 【ポイント選定理由】

選定事項	理 由
基本的機能の充実	・「資料の収集・保存」「展示等の資料の利活用」「資料の収集・保存・利活用を支える調査研究」「成果の社会還元」など、新たな時代・社会の情勢を見据えた取組が必要と考えられるため
求められる役割	・博物館に係る国内外における議論、社会ニーズや意識の変化、政策動向など、文化(財)のあり方などを踏まえ、道立総合博物館としての取組が必要と考えられるため
地域との信頼関係の構築	・創造活動の発展の場として、より身近な地域（広くは道民、狭くは近隣のエリアの、道民、学校教育等）との関係を意識した、取組が必要と考えられるため
運営基盤強化	・上記の選定事項を踏まえ、組織体制、人材育成及び政策予算への反映などを含め博物館活動の持続的、発展的運営を目指すことが必要と考えられるため

## ■ 進め方

- ・ 資料（予算変遷、中期目標実績値など）は、事前配布
- ・ 意見聴取にあっては、ポイントを絞り、議論を深化させたい  
（EX：今回、「基本的機能の充実」「求められる役割」次回、「地域との信頼関係」など）
- ・ 会合において一定の方向性が出ない場合は、書面開催や個別意見聴取を検討